

Governance

情報セキュリティ

社会課題に対する考え方

企業経営を脅かすサイバー攻撃の手口は、多様化・悪質化しています。ターゲットも規模や業種を問わず拡大し、誰もが狙われる時代となりました。企業や組織においては情報セキュリティを重要な経営課題として捉え、一層、高度な取り組みを行なうことが求められています。アンリツグループでは、情報を適切に取り扱い、保護するため、国内・海外での情報共有、セキュリティレベルの均一化を進め、強固な管理体制を構築していくことが重要であると考えています。

方針

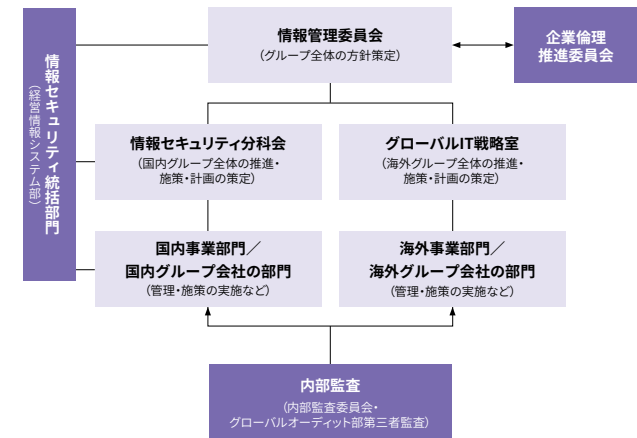
アンリツグループは事業活動を行う上で、お客さま、株主・投資家、取引先さま、社員など全てのステークホルダーの情報を適切に保護することが社会的責務であり、また、その情報資産が重要な財産であると認識しています。この観点で情報管理基本方針を制定し、セキュリティの維持・向上への取り組みを継続的に実施しています。

WEB 情報管理基本方針

体制

情報セキュリティの管理体制は、各事業部門およびグループ会社の担当執行役員からなる情報管理委員会と、その下部組織である国内グループ会社の代表者からなるセキュリティ分科会で構成されます。情報管理委員会はグループ全体の情報管理に関する施策や投資などの方針を策定しています。セキュリティ分科会は、ポリシーの制定や施策の実行、社員教育、インシデント発生時の対策と情報共有などを行っています。分科会のメンバーは所属組織の責任者として、セキュリティの維持・向上に努めています。また、2021年4月にITを統括する組織として、グローバルIT戦略室を創設しました。CIO (Chief Information Officer、最高情報総括責任者)が室長を務め、アンリツグループの地域統括会社のIT責任

者がメンバーとなっています。海外グループ会社のセキュリティを含むITの統制強化に注力していきます。



ISO27001 認証取得状況

・日本：経営情報システム部/エンジニアリング本部共通技術部CADチーム
・EMEA：Anritsu A/S サービス・アシュアランス・ビジネス関連部門

目標

▶グローバルで強固かつ均一なセキュリティシステムの構築

グローバルに事業を展開するアンリツグループでは、世界中のオフィスをネットワークで接続し、情報の共有化をさらに進めていきます。

▶多様な働き方を支えるセキュリティシステムの構築

テレワークなど多様な働き方でも安全に業務を行えるようなセキュリティシステムを再構築します。

取り組み／活動実績

IT統制の強化

2021年4月にグローバルなITを統括する組織として、グローバルIT戦略室を創設しました。海外グループ会社の情報セキュリティを含むITの統制強化に注力していきます。

テレワーク環境における情報セキュリティ向上

新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの社員がテレワークを行うことで、情報セキュリティリスクが高まっています。

この対策として、社員にはテレワークにおけるPCの取り扱いに関する注意事項を周知するとともに、PCやネットワークを脅威から守るための仕組みを導入しました。

社員教育とフィッシングメール訓練の実施

毎年、eラーニングで全社員に情報セキュリティ教育を実施しています。2020年度は特にテレワークにおけるITの利用について教育を実施しました。また、急増している電子メールを悪用したサイバー攻撃に対しては、例年、フィッシングメール訓練を実施し、日頃から不審な電子メールを安易に開かないという意識を醸成しています。2020年度からは訓練の回数を増やし、注意力の向上を図っています。(2020年度は新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延に伴う影響を考慮し、米州・欧州地域の一部で実施を見送りました)

IT投資の重点項目

IT投資の重点項目として、「事業成長の支援」「グループ経営の全体最適の推進」「安全・安心なIT サービス提供」を掲げています。

「事業成長の支援」では、顧客の接点であるアンリツのインターネットWebサイトやMA(マーケティングオートメーション)、CRMシステム構築に投資しています。

「グループ経営の全体最適の推進」では、国内グループ会社のERP*の統一を完了し、グループ間取引の自動化、内部統制、BCP、見える化などを実現しました。現在、海外グループ会社のERP導入を進めています。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、新常态に対応するリモートビジネスやテレワークを支えるITシステムの構築を行っています。

* ERP (Enterprise Resource Planning) : 会計、販売、生産、購買などを統合し、一元的に管理する企業の基幹システム